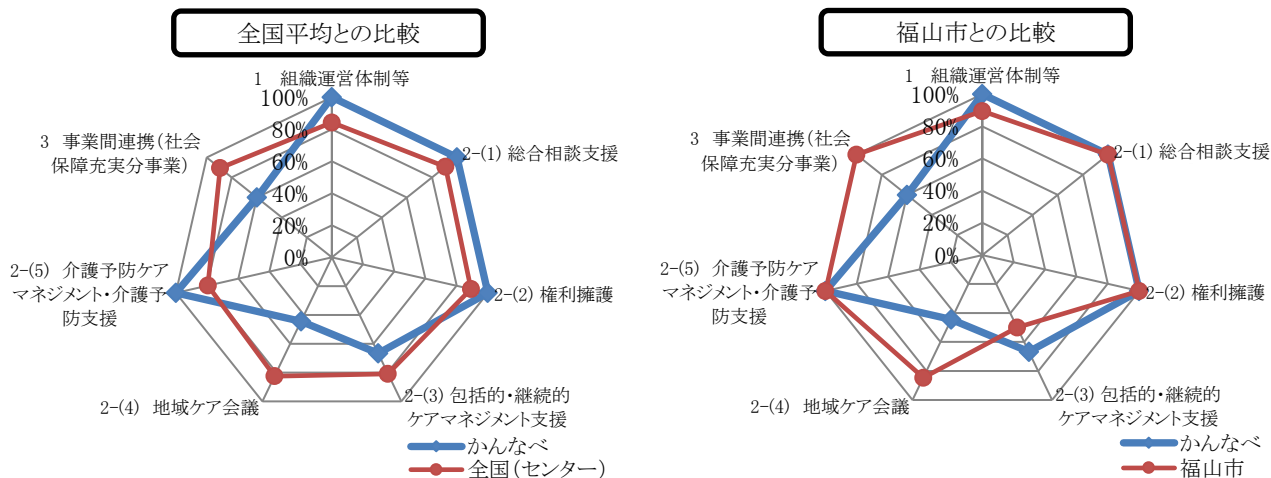


2020年度(令和2年度) 福山市地域包括支援センターかんなべの事業評価結果の概要

事業委託法人名称	社会福祉法人 安那福祉会
地域包括支援センター名称	福山市地域包括支援センターかんなべ
担当小学校区	神辺(秋丸を除く。), 御野, 竹尋

※評価対象年度:2019年度(令和元年度)



項番	評価項目	評価内容	平均点数・%
1	組織運営体制等	・職員配置について、適正な配置ができています。	100.0%
2-(1)	総合相談支援	・総合相談支援業務について、円滑に実施できている。 ・担当区域外の住民からの相談も多々あり、担当のセンターに円滑につなげることができるよう丁寧な対応に努めている。	100.0%
2-(2)	権利擁護	・高齢者虐待等、権利擁護に関する相談に対して、保健事業実施課や関係機関と連携を図りながら対応できている。 ・主催する学習相談会や地域主体の通いの場等で、権利擁護についての啓発を実施している。	100.0%
2-(3)	包括的・継続的ケアマネジメント	・介護支援専門員を対象とした研修会を年に2回開催している。 ・地域の介護支援専門員のニーズや課題を把握し、それに基づく事例検討会が実施できていないため、改善が必要である。 ・主任介護支援専門員を対象とした「主任介護支援専門員の会」の開催に向けた検討を実施している。	66.7%
2-(4)	地域ケア会議	・地域ケア会議(日常生活圏域)を3回開催したが、地域ケア会議(個別)は開催していないため、改善が必要である。地域ケア会議(個別)を積み重ね、地域課題の把握・課題解決へ繋げていくことが望まれる。 ・地域ケア会議(日常生活圏域)については、学区ごとに経年的に開催し、地区診断を行っている。 ・センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間での共有ができていないため、改善が必要である。 ・ケアマネ連絡・交流会において自立支援型地域ケア会議の模擬を実施している。	44.4%
2-(5)	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	・介護予防ケアマネジメント、介護予防支援について、居宅介護支援事業所等と連携し、円滑に実施できている。 ・積極的に短期集中予防サービスの利用をプランに取り入れ、短期集中予防サービス終了後は、一般介護予防教室や地域主催の通いの場等のインフォーマルサービスを活用している。	100.0%
3	事業間連携(社会保障充実分事業)	・地域の専門職が参加する出張いきいき学習・相談会をそれぞれの学区で毎月実施し、住民と専門職との意見交換により顔の見える関係づくりに努めている。 ・認知症カフェ「みかんカフェ」を年に6回、地域のボランティアと連携し開催している。 ・生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議ができていないため、改善が必要である。 ・生活支援コーディネーターと連携し、年間を通して計画的にリーダー育成研修の実施や、出張いきいき学習・相談会における居場所づくり学習に取り組んでいる。	60.0%